

記入例

様式第7（第9条第1項関係）

体験の機会の場合認定申請書		記載不要です。
※整理番号		
長野市長 様	法人等その他団体の場合は、「〇〇株式会社 代表取締役 長野市 太郎」のように代表者名まで記載してください。	令和5年4月25日
申請者	氏名 長野市 太郎	個人の場合は、「住民票の住所地」を記載してください。
	住所 長野市大字鶴賀緑町××-□□	
環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第20条第3項の規定により、次のとおり申請します。		
体験の機会の場合の名称及び所在地	名称：〇〇〇〇 所在地：長野市□□-△△	
体験の機会の場合で行う環境保全の意欲の増進に関する事業の内容	・自然の中で体を動かして、楽しく環境について学ぼう。 ・丸太を切ったり、薪割り体験をして、環境保全の重要性を学ぼう。	
体験の機会の場合で行う環境保全の意欲の増進に関する事業の対象となる者の範囲	長野市内の小・中学生 特に制限を設けない場合は、その旨を記載してください。	
認定の申請に係る事業のために体験の機会の場合を提供する期間	5年	6月1日から6月30日
		8月1日から8月31日
	認定有効期間は、5年です。	季節毎に異なる事業を実施する場合や、同一事業でも実施時期が行う場合は、それぞれの期間を記載してください。

備考

- ※の欄には、記載しないこと。
- 申請者が法人その他の団体の場合にあつては、「氏名」については、法人その他の団体の名称及び代表者の氏名を記載し、「住所」については、主たる事務所の所在地を記載すること。
- 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 「体験の機会の場合で行う環境保全の意欲の増進に関する事業の対象となる者の範囲」については、特定の者に対して不当な差別的取扱いをするものでない旨を説明すること。

様式第1号（第3関係）

法第20条第4項各号の規定に該当しない旨の説明書

令和5年4月25日

（宛先）長野市長

個人の場合は、「住民票の住所地」を記載してください。

法人等その他団体の場合は、「〇〇株式会社 代表取締役 長野市 太郎」のように代表者名まで記載してください。

住所 長野市大字鶴賀緑町××-□□
氏名 長野市 太郎
連絡先（電話）026-〇〇〇-△△△△
〔法人等にあつては、主たる事務所
の所在地、名称及び代表者の氏名〕

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律施行規則第9条第2項第3号の規定に基づき、下記のとおり説明します。

記

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第20条第4項各号に規定する欠格事由には該当していません。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律法20条第4項（抜粋）

第20条

- 4 次の各号のいずれかに該当する者は、認定の申請をすることができない。
- (1) 法20条の6第1項の規定により認定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しない者
 - (2) 法人その他の団体であつて、その役員（法人でない団体にあつては、その代表者）のうちに前号に該当する者があるもの

様式第2号（第3関係）

（表）
事業実績報告書・収支決算書

申請日の属する事業年度の直前の事業年度の事業実績について記載してください。
事業実施日も記載してください。

1 体験の機会の中で実施した事業の概要

事業年度	令和4年6月1日～6月30日、9月1日～9月30日 事業実施日：令和4年6月11日、9月17日				
体験の機会の中で実施した事業の内容	事業の目的及び事業実施場所	実施期間又は所要時間	実施回数	事業の対象者及び参加定員数	参加費用
<ul style="list-style-type: none"> ・ 散策しながら、動植物の様子を観察する。 ・ 丸太を切る、薪割りなど、自然体験活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近にある豊かな自然を実感し、その自然環境を保護する重要性について学ぶ。 ・ 実施場所の名称 	約3時間	2回	<ul style="list-style-type: none"> ①〇〇小学校□年生30名 ②〇×中学校△年生30名 	なし
<p>事業として複数のプログラムを実施している場合は、それぞれの種類ごとに記載してください。</p>					
			回		円
			回		円
			回		円

(裏)

2 収支決算の概要

収 入		支 出	
項 目	収 入 額	項 目	支 出 額
参加費(1人500円) 500円×30名×2回	30,000	備品購入(2回分) ・のこぎり ・ボンド	20,000
<p>本業とは別に、申請に係る体験の機会の際の事業を行っている場合に、事業実施のために当該本業部分から支出がある場合は、「<u>事業主支出</u>」と記載してください。</p>		講師謝金 1人5,000円×2回	10,000
		<p>複数の種類のプログラムを実施する場合は、それぞれのプログラムごと記載してください。 同一のプログラムを複数回実施する場合は、実施に係る合計金額を記載してください。</p>	
合計A	30,000	合計B	30,000

備考

- 1 「収入」の欄は、参加費、助成金等の収入を記載してください。
- 2 「支出」の欄は、講師謝金、人件費その他本事業を実施するために要する費用を記載してください。

3 剰余金の使途の概要

A以上Bの場合の 剰余金の使途について	収入が支出を上回る場合に、余剰金の使途について記載してください。
------------------------	----------------------------------

備考 この欄は、収入が支出を上回る場合の使途について記載してください。

様式第3号（第3関係）

(表)
事業実施計画書・収支予算書

申請日の属する事業年度及び翌事業年度について、記載してください。事業実施日が決まっている場合は、その日を記載してください。

1 体験の機会の中で実施する事業の概要

事業年度	令和5年6月1日～6月30日、9月1日～9月30日 実施日：令和5年6月17日、9月16日				
体験の機会の中で実施する事業の内容	事業の目的及び事業実施場所	実施期間又は所要時間	実施回数	事業の対象者及び参加定員数	参加費用
<ul style="list-style-type: none"> ・散策しながら、動植物の様子を観察する。 ・丸太を切る、薪割りなど、自然体験活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある豊かな自然を実感し、その自然環境を保護する重要性について学ぶ。 ・実施場所の名称 	約3時間	2回	長野市内 小中学校 約30名	なし
<p>事業として複数のプログラムを実施している場合は、それぞれの種類ごとに記載してください。</p>			回		円
			回		円
			回		円

(裏)

2 収支予算の概要

収 入		支 出	
項 目	収 入 額	項 目	支 出 額
参加費(1人500円) 500円×30名×2回	30,000	備品購入(2回分) ・のこぎり ・ボンド など	20,000
<p>本業とは別に、申請に係る体験の機 会の場の事業を行っている場合に、 事業実施のために当該本業部分から 支出がある場合は、「<u>事業主支出</u>」 と記載してください。</p>		講師謝金 1人5,000円×2回	10,000
		<p>複数の種類のプログラムを実施する場合は、それ ぞれのプログラムごと記載してください。 同一のプログラムを複数回実施する場合は、実施 に係る合計金額を記載してください。</p>	
合計A	30,000	合計B	30,000

備考

- 1 「収入」の欄は、参加費、助成金等の収入を記載してください。
- 2 「支出」の欄は、講師謝金、人件費その他本事業を実施するために要する費用を記載してください。

3 剰余金の使途の概要

A以上Bの場合の 剰余金の使途について	収入が支出を上回る場合に、剰余金 の使途について記載してください。
------------------------	--------------------------------------

備考 この欄は、収入が支出を上回る場合の使途について記載してください。

様式第4号（第3関係）

安全の確保を図るための措置に関する申出書

参加者・実施者の安全管理体制	安全管理責任者	〈職名・氏名〉
	安全管理の概要	〈緊急時の対応方法（連絡体制等を含む）〉 ・責任者：消防・医療機関等へ連絡 ・スタッフ：参加者安全確保、誘導
		〈スタッフへの事前講習〉 <input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし（今後の対応：年1回講習会を開催）
		〈安全マニュアルの整備〉 <input type="checkbox"/> あり（写しを添付してください。） <input checked="" type="checkbox"/> なし（今後の対応：マニュアルを整備し講習会にて周知する）
	〈参加者の傷害保険の加入〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり：学校にてレクリエーション保険加入 <input type="checkbox"/> なし（今後の対応：）	
土地・建物の安全管理	危険箇所の安全対策	〈危険箇所の有無〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり（具体的箇所：活動場所において、道幅が狭く、車が通る） <input type="checkbox"/> なし
		〈危険箇所の表示〉 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし（今後の対応：開始時など参加者へ注意喚起）
		〈参加者の危険回避のための安全対策〉 ・スタッフによる注意喚起や参加者の分散
	施設等の保守管理、メンテナンスの方法等	〈点検、整備等の状況〉 ・毎日施設内の清掃・点検を実施している。 ・不備があった場合は、直ちに復旧している。
	付属設備・備品等の保守管理、メンテナンスの方法等	〈点検、整備等の状況〉 ・事業実施前に、使用備品の点検をしている。 ・消火器等の設備が整備されているか確認している。

備考

- 「緊急時の対応方法」の欄は、責任者又はスタッフごとの役割分担又は連絡体制、消防機関若しくは医療機関等との連携状況等について具体的に記載してください。
- 危険箇所の有無又は表示の状況が分かる図面、写真等を添付してください。
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4にしてください

様式第5号（第3関係）

事業実施体制に関する説明書

番号	体験の機会の中で実施する事業の従事者の氏名	役割	知識及び経験に関する説明（※1）		経験等の有無（※2）	指導方法（※3）
1	〇〇 〇〇	全体総括者	3年	環境保全教室の実施 (令和2年～)	①	
2	×× ××	プログラム実施者	2年	環境教育インストラクターの 取得(令和3年)	①	
3	△△ △△	プログラム実施補助	1年 3回実施	申請に係る場での事業プログラムの 実施	②	
4	□□ □□	プログラム実施補助			×	2番、3番の指導の下実施
5						

備考

- 1 ※1の欄には体験の機会の中で実施する事業に関する経験、学歴等を記載し、当該事業と関係のない経験、学歴等は記載しないでください。
- 2 ※2の欄には次の各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める記号を記載してください。
 - (1) 認定の申請に係る体験の機会の中で実施する事業に1年以上従事した経験を有する者の場合 ①
 - (2) (1)に掲げる者と同等以上の知識及び経験を有する者の場合 ②
 - (3) (1)及び(2)以外の者の場合 ×
- 3 ※2の欄に×を記載した場合は、当該×を記載した者の備考2(1)及び(2)に掲げる者による指導の方法を※3の欄に記載してください。
- 4 この用紙の大きさは、日本産業規格A4にしてください。

様式第6号（第3関係）

事業実施者の同意書

申請者と事業実施者が異なる場合に提出してください。

※原本は事業実施者が申請者へ提出し、申請時は写しを提出してください。

令和5年4月25日

長野市 太郎 様

申請者名を記載してください。
法人等その他の団体の場合は、「〇〇株式会社 代表取締役 長野市 太郎」のように代表者名まで記載してください。

住 所 長野市大字鶴賀緑町△△-〇〇

氏 名 〇〇株式会社

代表取締役 長野 花子

連絡先（電話）026-△△△-〇×□

〔法人等にあつては、主たる事務所
の所在地、名称及び代表者の氏名〕

下記のとおり、認定の申請に係る体験の機会の場において、環境保全の意欲の増進に関する事業を実施することについて同意します。

記

下記表については、「体験の機会の場認定申請書」と同じ。

体験の機会の場の名称及び所在地	名称：〇〇〇〇 所在地：長野市□□ - △△	
体験の機会の場で実施する事業の内容	・自然の中で体を動かして、楽しく環境について学ぼう。 ・丸太を切ったり、薪割り体験をして、環境保全の重要性を学ぼう。	
体験の機会の場で実施する事業の対象となる者の範囲	・長野市内の小・中学生	
体験の機会の場で実施する事業のために当該体験の機会の場を提供する期間	5年	6月1日から6月30日
		8月1日から8月31日

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4にしてください。

様式第7号（第3関係）

（表）

事業実施内容に関する説明書

1 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第7条に規定する基本方針に照らして適切な事業の内容について

<p>環境教育がはぐくむべき能力の育成に寄与する具体的な事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薪割り体験などで、どうしたら上手く割れるかを、参加者自身が考えて、他の参加者と協力して実施する。 <p>○「環境教育がはぐくむべき能力」とは、課題を発見・解決する力、コミュニケーション能力、環境の変化に気付く力、環境保全のために行動する力など</p>
<p>環境教育に求められる要素が含まれる具体的な事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然散策や動植物の観察、学習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 絶滅が危惧されていたり、実際に絶滅してしまった植物を紹介することで、身近な植物も減少するおそれがあることを学習する。 ○ 薪割り体験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 植物がどのように成長し、どのように活用されているかを、薪割り体験を通じて学習する。 <p>○「環境教育に求められる要素」とは、人間と自然環境のつながりを学び、生き物や植物などいのちの大切さを学ぶこと。</p>
<p>体験活動を通じた学びの実践に求められる要素が含まれる具体的な事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 散策や観察時に、どうして動植物が絶滅するのか、絶滅を防ぐために私たちにはどんなことができるのかなどを参加者に考えてもらい、学習のまとめとして発表してもらう。 <p>○「体験活動を通じた学びの実践に求められる要素」とは、学ぶ側が主体であり、感性を働かせるインプットと活動の中で得られた考えを他者に表現するアウトプットが実施されること。</p>

(裏)

2 環境の保全に関する学習の機会の提供に係る事業の内容について

自然体験活動等を通じて、自ら思考し、及び行動する機会が含まれる具体的な事業の内容	<ul style="list-style-type: none">・ 散策や観察、薪割りなどの体験活動の実施。 薪割りなどでは、どうしたら上手く割れるかを参加者同士で考えて、協働して実施する。
地域の課題を扱う環境教育等が含まれる具体的な事業の内容	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の絶滅危惧種や、固有種の動植物の、観察を行う。 私たちが暮らす身近な自然を観察し、保全するためにどんな取り組みが行われているのか学習するとともに、自分たちには何ができるのか考える。
参加者又は実施者との交流及び協働を必要とする具体的な事業の内容	<ul style="list-style-type: none">・ 散策や観察時に、どうして動植物が絶滅するのか、絶滅を防ぐために私たちにはどんなことができるのかなどを参加者に考えてもらい、参加者同士で発表し、意見を交換する。・ 別紙パンフレットPO参照

パンフレット等にて、各項目の事業内容を説明する際は、パンフレット等のページを記載してください。

備考

- 1 体験の機会の中で実施する事業の内容（以下「事業内容」という。）について、各項目に該当する内容を記載してください。
- 2 事業内容を記載したパンフレット等を提出する場合は、各項目について記載されている当該パンフレット等のページを記載してください。
- 3 各項目については、その理由も含めて明瞭に記載してください。